**Ｍ－Ｒｅｖｏ　　仕様選定表**（文書番号　T００１　　改訂０版）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 代理店 | 依頼日 | 　201　年　　　　月　　　　日 | 希望見積回答日 | 　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 会社名 | 関西オートメ機器㈱ | 部署・担当者名 | 環境制御部 |
| 案件名 |  |
| 客先 | 客先名 |  | 業種・その他 |  |
| 客先住所 |  | 担当部署・氏名 |  |
| 連絡方法 | TEL：　　　　　　　　　　　　　　　E-mail： |

＜M-Revo　仕様選定情報＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ | 撹拌目的 | □弱撹拌（沈降防止）□中撹拌（濃度均一）□強撹拌（混入・溶解促進）□エア・ガス混入 |
| ２ | 購入範囲 | □撹拌体のみ　　□ｼｬﾌﾄと撹拌体（□既設ﾓｰﾀor□新設ﾓｰﾀ）　□撹拌体・ﾓｰﾀも含めたセット |
| ３ | 現状の情報 | 羽根形状 | 段数　　　　　　　外径φ　　　　　　（mm）枚数　　　　材質： |
| ｼｬﾌﾄ形状 | 外径φ　　　　　×長さ　　　　　　　（mm）　　　　　　材質： |
| 固定・接合方法 | ﾓｰﾀとの取付： | ｼｬﾌﾄと羽根： |
| 運転状況 | ｼｬﾌﾄの角度：□垂直　□垂直から　　　°傾斜 | 使用回転数：　　　　　　　rpm |
| □連続定回転　　□断続　　□回転数制御 | 運転中に　□排出　□補給　する。 |
| 現状の問題点？ |  |
| ４ | 容器 | 形状・寸法（図面があれば添付）□容器図面有 | □円筒　□角形　φ　　　　　×　　　　　　×高さ　　　　　　（mm） |
| 容器容量 | 　　　　m３or　L | 底形状 | □平　□円錐　□水勾配　　° |
| □形状が複雑： |
| 容器材質： | □運転中排出する流量：　　　　　　　　m３/hr　or　L/min |
| 液量 | 変化□有　□無　　液量常用最大　　　　　　　m３or　L 　～　最小　　　　　　m３or　L |
| □容器内障害物有 |  |
| ５ | 流体の物性 | □液/液　□液/固体 | \*撹拌状態：　□希釈･溶解　 □乳化　　□溶解　　□均一分散　　□沈降防止 |
| 液体１（溶媒）性状 | 名称：　　　　　　(pH:　　) | 比率 wt％ | 比重： | \*粘度： |
| 液体２（溶質）性状 | 名称：　　　　　　(pH:　　) | 比率　　wt％ | 比重： | \*粘度： |
| 固体　（溶質）性状 | 名称：　　　　　　(pH:　　) | 比率　　wt％ | 比重： | \*粒径： |
| □\*混合による反応有 |  |
| □\*その他の注意事項有 |  |
| ６ | 駆動 | 動力 | □電力：　　　相　　　　Ｖ　　　Ｈｚ | □エァ：気圧　　　　MPa　流量　　　　m３/min |
| 　　　　　既設のﾓｰﾀを使用する場合は以下の仕様を記入ください。 |
| □電動ﾓｰﾀ | ﾓｰﾀ容量：　　　　　kW | 減速機　□有　□無 | 減速比： | 屋内設置　□ |
| ﾓｰﾀ種類　□ＡＣ　□ＤＣ | インバータ□有□無 | 現在の時定数：　　　　　sec |
| □エァﾓｰﾀ | ﾓｰﾀ容量：　　　　kW相当 | 減速機　□有　□無 | 減速比： | 屋内設置　□ |
| ７ | 特記事項 | □材質指定 | 撹拌体： | ｼｬﾌﾄ： | 表面処理指定： |
| □デモ試験 | \*試験条件： |
| □その他 | （撹拌状態の判定基準・槽内設置位置の偏心指定など） |

該当する□にはチェック（✔）を入れてください。　　　　＊マークは、裏面に説明があります。

＜裏面＞　＊の補助説明

Ⅰ　攪拌状態の区別

　　下記のように考えて言葉を区別しています。

　　　　　　　液－液の混合　　　　　　　　　　　　　　　　液－固の混合

溶け込みますか？

溶け込みますか？

　　　Yes　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Yes

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　No

均一分散ですか？

　　　　　　　　　　 No　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Yes

No

　希釈・溶解　　　乳化（エマルジョン）　　　　　溶解　　　　　均一分散　　　　　　　　沈降防止

　　　　　　　　＊微細な粒子になって混合　　　　　　　　　＊濃度がほぼ一定　　　　＊沈殿しない程度

Ⅱ　粘度

　　粘度が数値として解らない場合、下記のように質問して当てはまるものを記入してください。

1. （水のように）　シャバシャバ　　　　　　②　（オイルのように）　　トロトロ
2. （はちみつのように）トローリ　　　　　　④　（とんかつソースのように）どろどろ

Ⅲ　粒度分布

　　固体の粒度分布が分からない場合は、攪拌を止めてからの沈降速度を聞いてください。

A　攪拌を止めると、　　　分後には目視で解る程度に相が分離し、　　時間後には分離して

　　　　１／何　　ぐらいは透明な液相が見えます。

　　B　攪拌を止めると　　　　分後には底に沈殿物が現れ、　　　時間後にはほぼ完全に沈殿分離します。

Ⅳ　混合による反応

　　（例）　沈殿・浮遊物の生成、　吸熱・発熱、　粘度の経時変化、　ガスなどの発生　など

Ⅴ　その他の注意事項

　　ダマになり易い、　泡が出やすい、　　有毒性がある　など

Ⅵ　試験条件

　　デモ機のサイズ、　テスト容器形状、　液量、　M-revoの回転数、　攪拌結果の評価　など